



社協だより

福祉ネットワーク

発行■社会福祉法人遠賀町社会福祉協議会 ☎(293)0430 印刷■株式会社ページ

令和4年

11月25日発行

第196号

食と学び 循環する

冬

今回は、食と学びで子育て親子や地域を応援する
“みんなの居場所”と“ちくようごはん”の取組
みをご紹介します。

2つの取組みを陰で支えるフードドライブ事業
にも、ご協力をお願いいたします！



フードドライブ

事業の ススメ!!

ありがとうございます。

“もったいない”を“えがお”に変える仕組み

私たち遠賀町社会福祉協議会は、フードドライブ(食料の回収)を通して、「食品ロス削減」
「子ども食堂への食料提供」を行っています。集めた食品は、遠賀町内の地域子ども食堂や
生活困窮の方への支援物資として活用します。

○お持ちいただきたい食品

- (賞味期限が1か月以上の)加工食品
- インスタント・レトルト食品
- 乾麺・乾物、缶詰、調味料
- (賞味期限の近い)防災備蓄品
- 米、野菜
- 冷凍食品

✕受付できない食品

- 賞味期限の記載のないもの
(安全上の問題)
- 賞味期限が1か月に切っているもの
- 開封されているもの(衛生上の問題)
- アルコール飲料(料理酒・みりん除く)

【回収場所】

社会福祉法人
遠賀町社会福祉協議会
遠賀町浅木二丁目31番1号
☎293-0430

ふれあいの里の
なかにあります!

12/10(土) 人権フェスタに 参加します。

9:30 ~ 14:00

@遠賀町中央公民館

当日はフードドライブの
受付もあります!



“みんな”でつくる“みんなの居場所”

えがお食堂を運営するNPO法人つどいが始めた新たな取り組み

スモール イズ ナイス

小さいことは良いことだ。一つひとつは小さくても、私たちは独りじゃない。「できることから始めよう!」でオープンした“みんなの居場所”は一人ひとりの個性が輝く居場所。塾長の柴田晴夫さんにお話を伺いました。

多様な仲間と出会うことで、新しい気づきや発見が生まれる、みんなの学び合いの場です。ふらっと立ち寄れて、ああ居心地がいいなと思つてもらえたら、それでみんなの居場所は成功です。こども食堂の2階を利用してありますが、もちろん、子どもだけじゃなく、大人も気軽に集つてほしいと考えています。色々なバックグラウンドを持つ人同士が

ここは、あなたたちの居場所
誰でも来ていいし、無理に来なくてもいい
多様性を尊重し合う豊かな学びの場



みんなの居場所
塾長 柴田 晴夫 さん

(経歴)
宗像高校や東筑高校などの校長を歴任。40年以上にわたり教育に携わり、ソーシャルスキルの向上や不登校問題などにも尽力。

対等な立場でお互いを尊重し、コミュニケーションがとれる。そんなえがおあふれる居場所づくりを通して、一つひとつのつながりが、地域のつながりになり、ネットワークとして広がっていけばいいと考えています。人生は予め敷かれたものではなく、獲得するものだとは考えています。みんなの居場所には、人生経験豊かなスタッフがたくさんいます。学校の先生をしていた人や外国での生活を体験してきた人、障がい

毎週火曜日
14:00~18:00

みんなの居場所 @えがお食堂

ある日の タイムスケジュール

14:00~17:00 宿題など

17:10~17:50 お楽しみ会

17:50~ 晩ご飯

だれでも参加OK!

お問い合わせ/080-1622-4202(柴田)

場所:遠賀川2丁目20番4号

費用:無料(食事は大人300円
子ども100円)

スタッフ紹介

柴田晴夫(学習支援・不登校相談など)

小川和明(教育・スポーツ・相談)

平田龍司(教育・スポーツ・相談)

安増直美(保育・子育て相談)

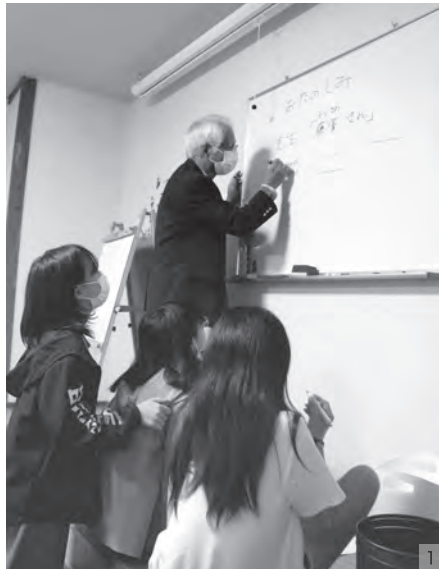
柴田英里子(学習支援・外国人サポート)

鈴木裕子(教育・スポーツ・相談)

濱田泉(学習支援・音楽・相談)

野口久美子(高齢者相談・子育て相談)

…AND YOU!



1.学校では教わらないことをテーマに地域の大人がミニ授業を開催!この日は“錯覚の仕組み”を体験中。2,3.宿題も忘れません。分からないことは周りに聞きながら学習します。4.終わった後は、みんなでご飯。えがお食堂の料理を美味しくいただきます!

を持つ方の支援に携わる人や保育士さんなど、色々な大人の姿を見て、聴いて、対話して、自分の将来をたくさん想像してほしいと思います。色々な大人の良いところを吸収して、自分だけの色を掴み取ってほしいんです。

人生は長く、子どもたちの未来は始まったばかりです。結局のところ、大人になるまでに子どもたちは多くを忘れていってしまうと思います。ここに来れば何かが劇的に良くなるというものではありませんから。ただそれぞれでいいんですよ。ここに居る人たちのほとんどの顔を覚えていくれなくても、色々な大人たち

火曜日が
待ち遠しい!

— 子どもの声 —

ここにいればみんながいて楽しい。いつのまにか、ここが、当たり前居場所になっている。

夢はカメラマン。自分のカメラ信じて、いつか世界中を飛び回ってみたい。



から大切にされ、ともに笑い合った経験は、心のどこかに確かに残ると私は信じています。明るいまちをみんなで作っていくためには、人と人のつながりが大切です。そうして支え合える関係の中で、励まされて勇気をもったり、嬉しい気持ちになれたり、そのままの自分を肯定することができると思います。だからこれからも、つながりの空間・時間として、ここみんなの居場所を守っていきたくないと考えています。

支援ではなく 思いやり。一方通行ではなく お互いさま。

ちくようごはんが目指す理想の姿

2021年5月にオープンした“ちくようごはん”は、子育て世帯を応援する居場所です。

花田さん家族4名と取組みに共感してくれた地域の方2,3名で、毎月1回、連絡をくれた子育て親子のためにお弁当を手作りしています。代表の花田さんに活動への想いを伺いました。



1,2.毎回約15世帯用に60食以上手作りしているお弁当。季節にあった彩りに仕上げています。3.利用してくれている方から、「良かったら配ってください」といただいたお菓子たち。お互い様、思いやりのかたちです。4.夏休みの時期には受付前で縁日イベントを実施しました！5.家族やご近所の力を借りながら運営しています。

コロナ禍でみんな不安だった。
知識も何も無かったけど、とにかく
やってみようと今もただ〳〵生懸命

ちくようごはん
代表 花田 和美 さん

コロナ禍で子育て世帯のつながりが希薄になっていると知って、ちくようごはんを始めました。食の支援を通して、子育ての負担を少しでも減らせたらと思ったのと、子育ては一人でするものじゃない、みんな側にいるよって伝えたくったんです。右も左もわからなかつたけど、色々なアドバイスをいただきながら、今日まで手探りで活動しています。

今後は食堂を開くなど色々な展開を模索中ですが、今は月に一度のお弁当のやり取りを通して、少しずつ、つながりが広がっているのを嬉しく思っています。噂を聞いて、手伝いに駆けつけてくれた方もいるんです。社会福祉協議会のフードドライブを経由して、お米などを寄付してくれる地域の方もいます。つながりの温かさを実感でき、活動の原動力になっています。ぜひ、皆さんもちくようごはんに遊びに来てください！



香典返し

(令和4年9月13日)

11月10日受付

次の方々から本会にご寄付をいただきました。

故人のご冥福を心からお祈りするとともに、ご厚志に深く感謝申し上げます。

故 石井 純子 様

(広 渡)石井 英己 様

故 重廣 トヨコ 様

(広 渡)重廣 博一 様

故 福島 昭夫 様

(尾 崎)福島 順子 様

故 古見 正義 様

(広 渡)古見 浩 様

故 織田 和恵 様

(広 渡)織田 茂彰 様

故 高田 ソル子 様

(別 府)山下 孝子 様

故 住田 房枝 様

(今古賀)住田 憲紀 様

※寄付者様に記載いただいたとおりに掲載しています。

ちくようごはん

遠賀町大字別府3241番地

こども(中学生まで)・・・無料
大人・・・・・・・・200円

お問い合わせ/090-5240-2701
(花田)

LINE, Instagramやっています!
ボランティア・食材支援も募集中!

【令和4年度社会福祉協議会会員加入状況】 令和4年11月1日現在

行政区	令和4年 3月31日現在 世帯数	加入戸数			納入金額 (単位：円)
		賛助	一般	計	
島津	36	0	19	19	9,500
若松	121	0	98	98	49,000
鬼津	595	14	196	210	112,000
尾崎	388	0	232	232	116,000
田園北	428	0	201	201	100,650
田園南	579	0	280	280	140,000
松の本	825	3	242	245	124,000
別府	766	2	350	352	177,000
今古賀	660	0	123	123	61,500
遠賀川	275	8	119	127	67,500
旧 停	151	1	81	82	41,500
新 町	412	0	264	264	132,000
中 央	197	2	116	118	60,000
広 渡	527	25	173	198	111,500
木 守	464	0	283	283	141,500
上別府	306	0	244	244	122,000
若葉台	66	0	47	47	23,500
東和苑	459	0	360	360	180,000
浅 木	517	0	374	374	187,000
老 良	84	4	63	67	35,500
虫生津	197	0	102	102	51,000
緑ヶ丘	182	0	127	127	63,500
芙 蓉	249	0	130	130	65,000
町 外	16	0	16	16	8,000
合 計	8,500	59	4,224	4,299	2,179,150

※町外は、墓地清掃管理サービス事業の利用者です。

一般会費・賛助会費

2,179,150円

今年も本会会費として、多くの浄財を賜りました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。今年度の総額は、2,179,150円（昨年度は2,257,050円）となりました。

いただいた浄財は、福祉ネットワーク推進委員会への支援をはじめとする地域福祉活動の促進のために、大切に活用いたします。皆様の支援が、みんなの居場所や、ちくちくようごはんの皆さんのよう

に、遠賀町の福祉のために尽力する方たちの力となるのです。

また、引き続き、事業所等を対象とした特別会員も募集しています。前号にて掲載させていただきました事業所に加え、新たに(株)福祉人様からも特別会費を賜りました。皆様の温かいご支援、本当にありがとうございます。

特別会費（敬称略）
一口 (株)福祉人

遠賀町の福祉の祭典ふたたび！ ふれあい福祉フェアとして帰ってきた！！



10月16日、コロナ禍で長らく中止になっていた「福祉まつり」が、「ふれあい福祉フェア」に生まれ変わり、盛大に開催されました。

私たち社会福祉協議会は、遠賀町ボランティア連絡協議会に所属する14団体を紹介するコーナーをはじめ、福祉講演会の開催や介護ベッドと車椅子の体験イベント、フードドライブ事業のご案内等を行いました。

わたしからあなたへ つなぐメッセージ

福 来たる

《第9回》

遠賀町でボランティア等の地域福祉に尽力する方々の活動メッセージを紹介します。

第9回は、社会福祉法人福祉松快園の養護老人ホーム遠賀静光園で主任生活相談員として、日夜、施設で暮らす方々の生活を支えとともに、施設の所在する上別府区で実施されているサロン活動でも活躍中の原耕治さんからのメッセージです。



福祉業に転職したことに後悔は無いと言い切る原さん。介護の醍醐味は、人と直接関わることでその人の人生の一部になれることだと話します。「当初は介護だけが福祉と思っていたけど、今は違う。その人のためにできることは何かを考えれば、やれることはたくさんある。」福祉ってクリエイティブな仕事なんだなあ。

「施設も地域とともに」

原 耕治さん

|| 養護老人ホーム遠賀静光園

主任生活相談員 ||

支えるつもりで飛び込んだ福祉の道でしたが、今でも支えられることばかりです。前職は福祉と畑違いの業種だったので、知識も何も無い状態から現場の中で仕事を覚えてきました。21年勤めています。仲間から学ぶことや利用者様から教わることもまだまだ多く、いつも謙虚さを思い出させてくれます。施設内の業務に限らず、5年程前から、上別府区のサロンに登壇させていただいています。ここでも驚きと発見の連続です。

私は、高齢者が在宅で一人暮らしをする上でのキーワード、「運動」「栄養」「社会(地域)参加」の3つ全て揃っているのが、サロン活動だと考えています。ここ数年の地域活動は、コロナ禍で思うようにいかないところも多いと聞きますが、そんな時こそ、私たち福祉施設が地域の役に立つチャンスだと私は考えています。

新型コロナウイルスは、福祉施設にとっても大打撃でした。それでも、これまでインフルエンザやノロウイルスなどに対応してきたノウハウを駆使して、今も未曾有の事態に対応しています。こうした試行錯誤の積み重ねが、今度はコロナ禍での地域活動にも応用できるのではないかと思うのです。コロナが原因でできないと悩む声も、私たち福祉施設のノウハウとつながることで、できることからやってみように変わるなら、同じ地域にある私たち福祉施設にとってこんなに嬉しいことはありません。

▼次は、田中弘子さん||手をつなぐ親の会代表||にバトンをつなぎます。

社会福祉法人福祉松快園
養護老人ホーム

遠賀静光園

養護老人ホームは、介護の必要はないものの、環境的・経済的に在宅での生活が困難な高齢者を養護し、社会復帰を支援する施設です。遠賀静光園では、入居者の社会復帰を目的として、清掃活動やボランティア活動・各種セミナー等に参加し、地域の一員として活躍できる生きがいづくりに取り組んでいます。上別府地区体操教室では、介護教室・インストラクターの派遣も行っています。

【入所対象者】

- 軽度の認知症や精神疾患、知的障害があり独居生活が困難な方
- 家族による身体的・経済的虐待からの避難者
- 火災や立ち退きで、新たな生活の場を整えられない経済的な困窮者



〒811-4332 遠賀町大字上別府1872番地
養護老人ホーム遠賀静光園
☎ 093-291-3456